

2021

2020.4.1～2020.9.30

2021年3月期 第2四半期

決算説明資料



アドソル日進

代表取締役社長 上田 富三

2020年11月12日

アドソル日進 代表取締役社長の
上田 富三でございます。

本日は、ご多用の中、
オンラインでの開催となりました
「2021年3月期 第2四半期」の決算説明会に
ご参加いただき、誠にありがとうございます。

ご説明の資料は、
みなさまの「モニターの右側」に表示されますので
合わせてご覧ください。

2021年3月期 第2四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2021年3月期 重点施策と業績見通し

2

本日は、ご覧の項目について
ご説明いたします。

まずは、
「2021年3月期 第2四半期 決算概要」から
ご説明いたします。

最高売上・利益・受注残高 更新!!最高
売上高!!売上高 **67億90**百万円 (前期比 **+4.1%**)

最高益!!

営業利益 **6億88**百万円 (前期比 **+10.7%**)

過去最高!!

受注残高 **28億40**百万円 (前期比 **+13.9%**)

■ 通期業績予想に対する進捗率

売上高 : **50.3%**営業利益 **56.5%**

ご参考 2021年3月期 業績予想 売上高 : 135.0億円、営業利益 : 12.2億円

新型コロナウイルス感染症 : 「業績への影響 : 無し」

3

業績の総括です。

売上高は「67億9千万円」、
営業利益は「6億8千8百万円」、
受注残高は「28億4千万円」と、
いずれも「過去最高を更新」しました。

9月23日に
「上期業績予想の修正」を発表しております通り、
「期初計画」も「超過達成」しております。

また、業績予想に対する進捗は、ご覧の通りです。

現段階では、「通期業績予想」は据え置いており、
「売上高135億円」、「営業利益12億2千万円」を
見込んでおります。

尚、「新型コロナウイルス」による業績影響は
ありませんでした。

◆営業利益率：**10.1%**（過去最高!!）

(単位：百万円)	2020/3 2Q		2021/3 2Q		前期比	
	実績	率%	実績	率%	増減額	増減率%
売上高	6,522	-	6,790	-	268	4.1
社会インフラ事業	3,917	60.1	4,255	62.7	338	8.6
先進インダストリー事業	2,604	39.9	2,534	37.3	△70	△2.7
売上総利益	1,649	25.3	1,715	25.3	66	4.0
販売管理費	1,026	15.7	1,026	15.1	△0	△0.0
営業利益	622	9.5	688	10.1	66	10.7
経常利益	636	9.8	707	10.4	71	11.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	439	6.7	507	7.5	68	15.6

(注1)・2021年3月期より、アドソル・アジア株式会社（100%子会社、2020年4月1日事業開始）を、連結対象に追加しております。
このため、本決算説明資料内における2020年3月期の決算数値は、親会社単体の数値を参考記載しております（比較値においても同様）。
(注2)・2021年3月期より、旅行関連を、ビジネス・技術面から親和性の高い先進インダストリー事業にセグメント変更しております。
このため、2020年3月期のセグメント別売上は、旅行関連を組み替えた数値を記載しております。

次に、「損益計算書」の概要を
ご説明いたします。

「営業利益率」は、
「10.1%」と「0.6ポイント」アップしました。

コロナ対策として、
テレワークを積極的に進め、

技術者の安全に配慮した開発の推進や、
ニューノーマル・ソリューションの開発など、
「追加投資」を積極的に行いましたが、

「過去最高」の「営業利益率」を達成しました。

セグメント別売上高

- ◆ 社会インフラ事業 : エネルギー (電力・ガス)
- ◆ 先進インダストリー事業 : メディカル、次世代自動車 (先進EV、自動運転)、決済

	2020/3 2Q		2021/3 2Q		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減額	増減率%
(単位: 百万円)						
売上高	6,522	-	6,790	-	268	4.1
社会インフラ事業	3,917	60.1	4,255	62.7	338	8.6
エネルギー	3,302	50.6	3,649	53.7	346	10.5
交通・運輸	270	4.1	287	4.2	17	6.5
公共	71	1.1	62	0.9	△9	△13.0
通信・ネットワーク	273	4.2	256	3.8	△16	△6.2
先進インダストリー事業	2,604	39.9	2,534	37.3	△70	△2.7
制御システム	954	14.6	1,011	14.9	56	5.9
基盤システム	1,408	21.6	1,278	18.8	△129	△9.2
ソリューション	242	3.7	244	3.6	2	1.0

5

セグメント別の概要は、ご覧の通りです。

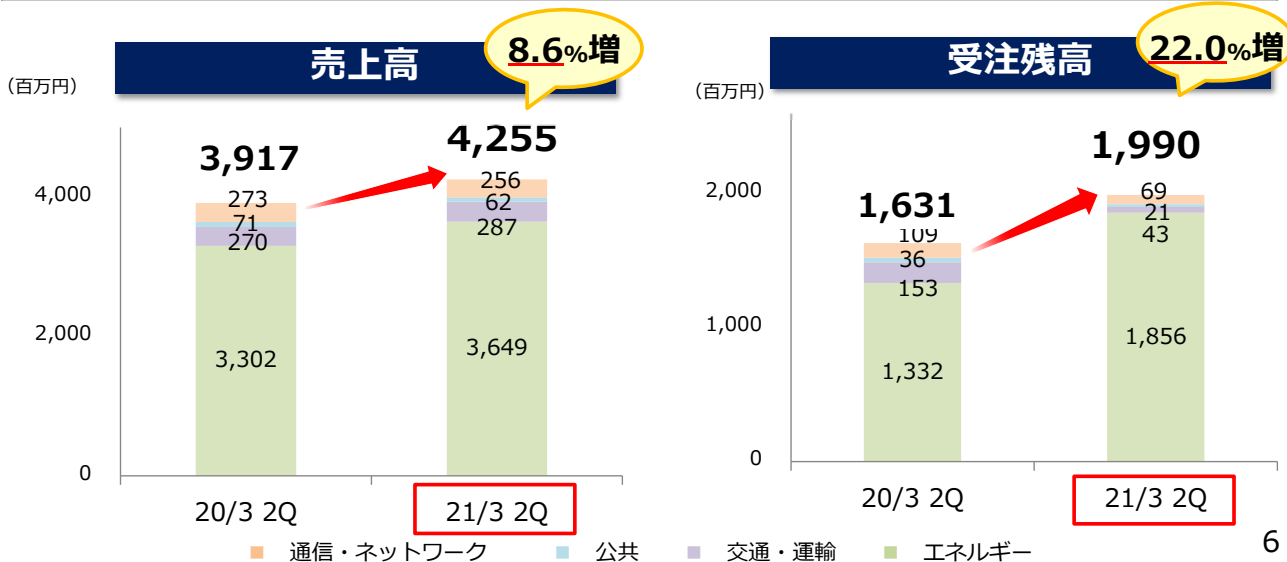
「社会インフラ事業」では、
電力・ガスの「エネルギー分野」が
好調に推移し、

「先進インダストリー事業」では、
次世代自動車や、医療・メディカルの
「制御システム分野」が計画通り推移しました。

それでは、次項以降で
詳細のご説明をいたします。

受注状況

- エネルギー
 - 電力：自由化後のシステム更新需要、新領域など
 - ガス：事業再編、基幹システム、DX/効率化テーマ
- 交通・運輸
 - 宇宙関連：計画通り推移
- 通信・ネットワーク
 - 次世代通信（5G）：継続



「社会インフラ事業」では、

- ・「エネルギー分野」は、
ガス会社の「事業再編」や「新サービスの創出」等の
旺盛な需要を取込み、拡大しました。
- ・「交通・運輸分野」では、中期的な成長のカギとなる
「宇宙関連」が計画通り推移しました。
- ・「通信・ネットワーク分野」では、
「5G」の取組みを継続しております。

結果、

売上高は

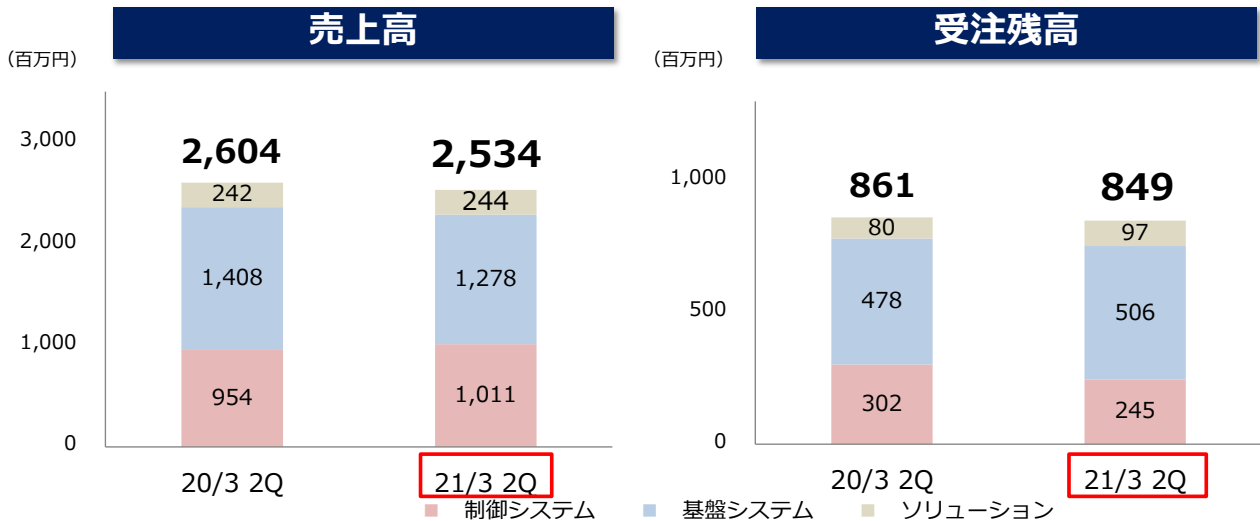
「8.6%増」の「42億5千5百万円」、

また、受注残高は

「22%増」の「19億9千万円」となりました。

受注状況

■ 制御システム	● <u>次世代自動車</u> 、IoT基盤等 : 計画通り
	● <u>メディカル</u> : 一部開発スケジュールで延期
■ 基盤システム	● <u>決済基盤関連</u> : 計画通り・対応領域拡大
	● <u>サービス関連</u> : 一部で縮小・延期
■ ソリューション	● <u>LynxSECURE</u> : ソリューション開発・実証実験 (<u>セキュア・ラップトップ</u> など) 継続
	● <u>GIS</u> (地理情報システム) : ソリューション強化・拡充



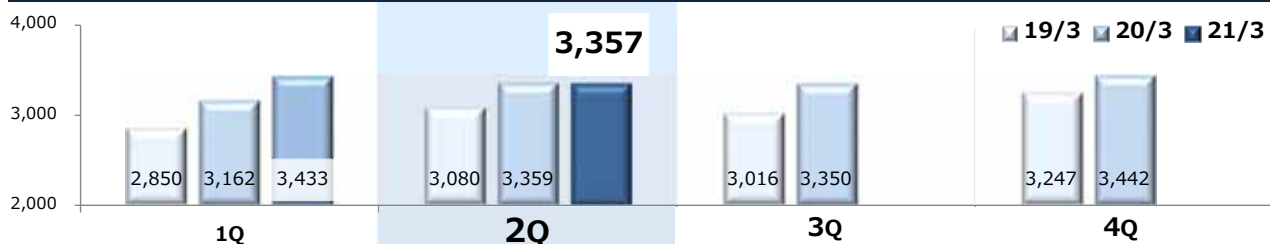
7

続いて、「先進インダストリー事業」です。

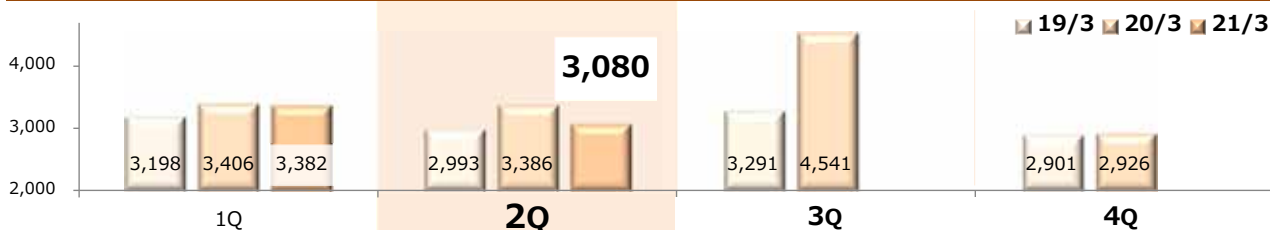
- ・「制御システム分野」では、
先進EV・自動運転等の「次世代自動車関連」が
計画通り推移しましたが、
メディカル関連で「一部開発スケジュール」に
延期がありました。
- ・「基盤システム分野」では、
「一部サービス関連」で「縮小・延期」がありましたが、
「決済基盤関連」で「対応領域の拡大」に
取り組みました。
- ・「ソリューション分野」では、
自治体向けテレワーク・ソリューションの
「セキュア・ラップトップ」など、
ソリューション開発や実証実験に注力したほか、
「GIS: 地理情報システム」の提供に注力しました。

以上の結果、
売上高は「25億3千4百万円」、
受注残高は「8億4千9百万円」となりました。

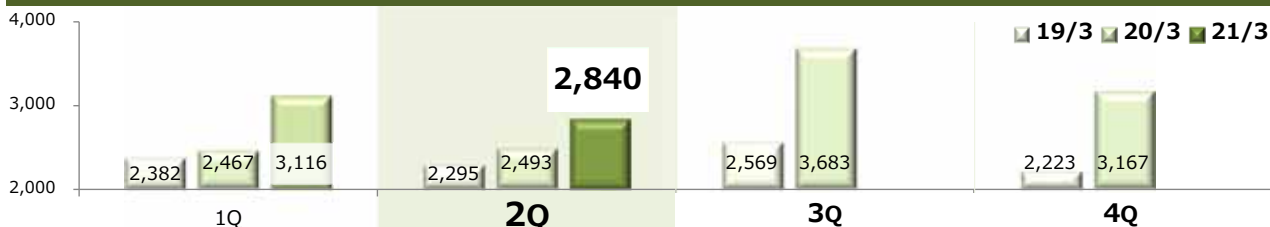
売上高



受注高

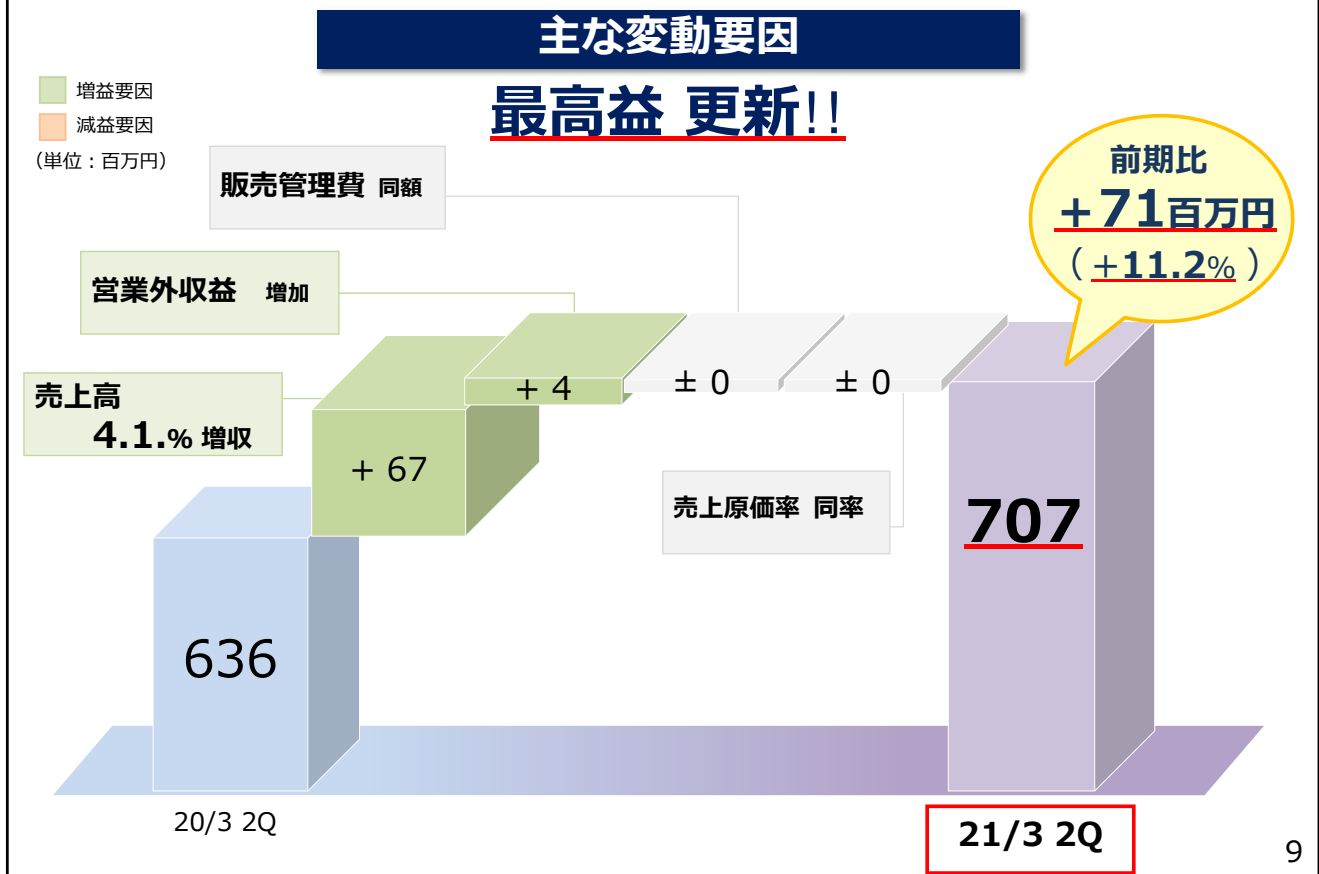


受注残高



四半期毎の
「売上高」、
「受注高」、
「受注残高」は、
ご覧の通りです。

尚、2022年に予定される
「ガス会社の法的分離・大型案件」を
「2020年3月期 第3四半期」に受注したことから、
受注残高が大きく増加しております。



続いて、経常利益の分析です。

「増収効果」等により、
「7億7百万円」と「過去最高」を更新しました。

なお、「販売管理費」は、
「新入社員研修」の期間延長や、
「テレワーク関連」での追加費用がありましたが、

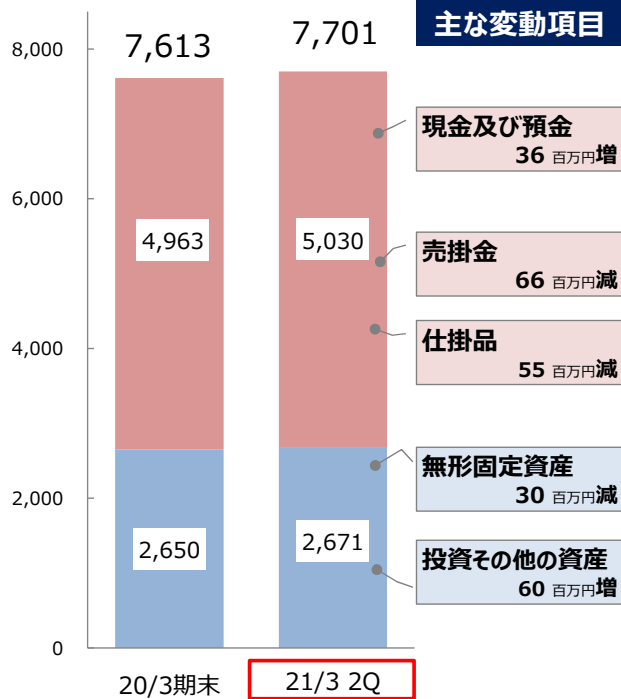
「リモートワークの推進等」による
「コスト削減効果」により、
おおむね前年同額で着地しました。

貸借対照表(前期末比較)

資産

● 総資産：77 億円

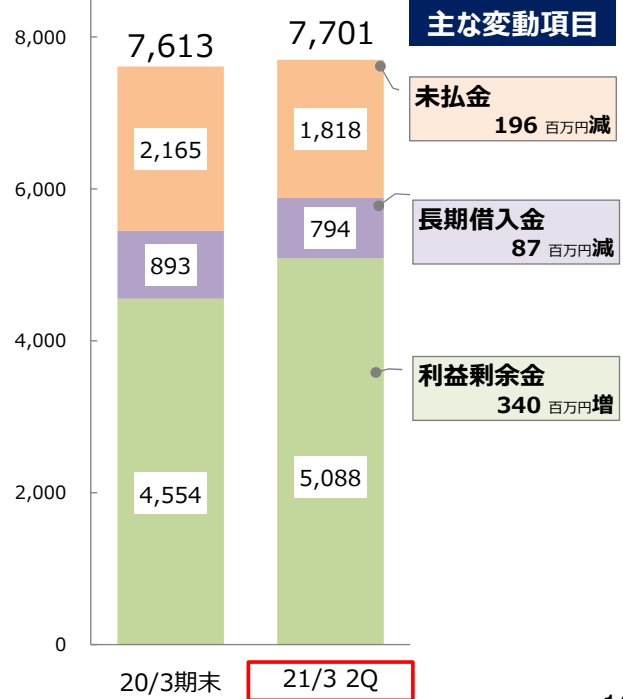
(単位：百万円) ■ 流動資産 ■ 固定資産



負債・純資産

● 自己資本比率：64.5% (+ 6.2P)

(単位：百万円) ■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産



貸借対照表は、ご覧の通り、健全な状況を保っております。

概要

(単位：百万円)	20/3 2Q	21/3 2Q	変動要因	
営業活動	567	194	・税引前四半期純利益	736
			・たな卸資産の減少	55
			・減価償却費	44
			・法人税等の支払	△227
			・未払金の減少	△183
			・売上債権の増加	△80
			・仕入債務の減少	△57
投資活動	△479	1	・有形固定資産の取得による支出	△15
			・投資有価証券の売却による収入	22
			・敷金及び保証金の差入による支出	△5
財務活動	191	△237	・長期借入金の返済による支出	△107
			・配当金の支払額	△165
現金及び現金同等物の 期末残高	1,651	1,935		

キャッシュ・フローの状況は、
ご覧の通りです。

2021年3月期 第2四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2021年3月期 重点施策と業績見通し

12

次に、
上期を中心に、
当社の取組みをご紹介します。

デジタル・イノベーションフォーラム 開催決定!!

**6年連続
2日間!!**

◆会期 2021年1月14日～15日（2日間）

◆会場 オンライン開催

◆主催  アドソル日進

◆協賛



プログラム

Day 1 ニューノーマル時代に求められる
DXとセキュリティ



Day 2 ネクストノーマルな社会を見据えた
DX最新事例



※両日とも、アドソル日進より、最先端ソリューションの採用・導入事例や技術トレンドなどをご紹介します。

「来年1月」に、「6年連続」となる
「当社主催のフォーラム」の
開催を決定しました。

本年度はオンライン形式で、2日間にわたり
開催いたします。

あらゆる産業で「デジタル・イノベーション」の
取組みに注目が高まっておりますが、
国内外の様々な分野で、最先端の取組みをされる
企業の皆様や、
「DX」、「AI」、「デジタル・データ」、「セキュリティ」
等での研究活動をリードされる大学教授をお招きし
ご講演を頂く予定です。

プレスリリースや、当社ウェブサイトをご覧いただき、
是非、ご参加下さい。

デジタル・イノベーションラボ：最先端ソリューション体感

「IoT」×「地図情報」×「セキュリティ」

新オープン!!

- 1 現場プロセスの業務改革・効率化 
- 2 スマートなエネルギー環境 
- 3 自然災害に強い企業・社会 
- 4 業務持続が可能なセキュアスマート自治体 
- 5 セキュアで安心安全な医療現場 

アドソル デジタル・イノベーション ラボ
Ad-Sol Digital Innovation Lab

【働き方改革・生産性UP】

工場内のヒト・モノの管理・位置検知
AIやクラウド等の最新テクノロジーを活用

【防災・BCP対策】

地図情報に様々なデータを融合、
GIS：地理情報システムで貢献

【テレワーク】

自宅・オフィス1台で高セキュリティ
LGWANのみ接続・データダイオード機能

【デジタル・データ保護】

IoTセキュリティ、サイバー・セキュリティ対策や、
デジタル・データ保護

オープニング・セレモニー



2020年9月 東京本社10F デジタル・イノベーション・ラボにて

次に、当社がご提供する
様々な「DXソリューション」を
お客様にご体感いただくと同時に、

「最先端企業」や「研究機関」、「大学」との
協業・連携による
オープン・イノベーションの実現を目指し、

その拠点となる
「デジタル・イノベーション・ラボ」を
東京本社10Fにオープンしました。

「IoT」、「地図情報」、「セキュリティ」を
キーコンセプトに、
当社の「最先端ソリューション」で
お客様の「デジタル・イノベーション」に
貢献してまいります。

自治体向け：「セキュア・ラップトップ」
テレワーク!!

「1台のパソコン」で、庁内・自宅から「セキュア」に接続



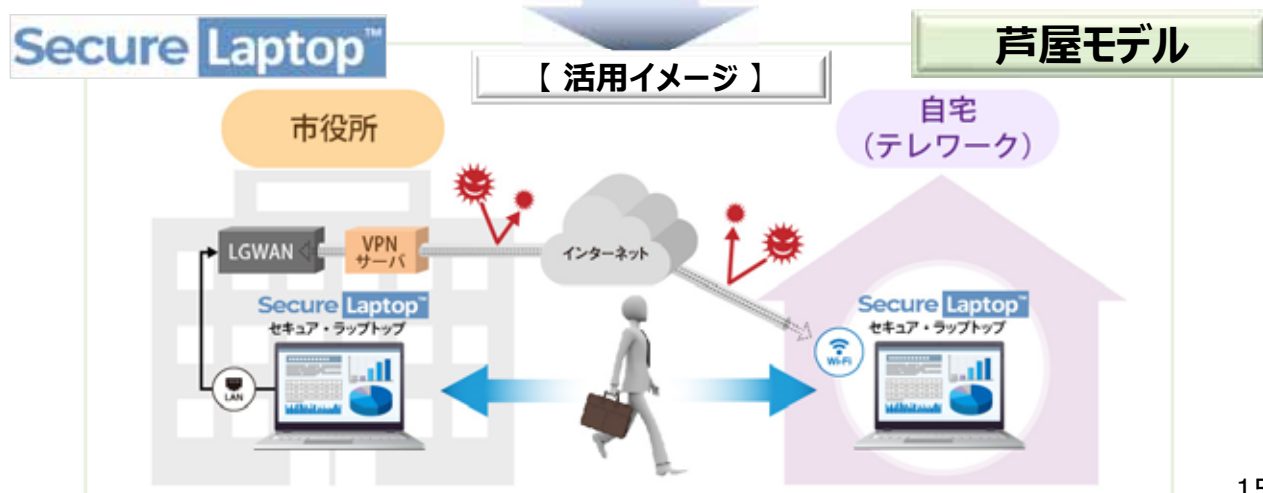
☆ 高セキュリティ ☆

- ・独自「高セキュリティ技術（航空・防衛領域）」
- ・「サイバー攻撃」・「ウイルス侵入」完全防御



☆ コスト低減 ☆

- ・「1台のパソコン」で業務可能（庁内・自宅）
- ・テレワーク用パソコン不要



15

次に、この上期は、
「DX時代のニューノーマル対応ソリューション」の
開発、展開に注力しました。

まず、7月には、自治体でのテレワークに貢献する
「セキュア・ラップトップ」を発表しました。

当社の「高セキュリティ技術」を活用することで、
テレワークで懸念される
外部からの「サイバー攻撃」や「ウイルスの侵入」を
完全に防御します。

また、庁内・自宅ともに「1台のパソコン」で
業務が可能となり、「コスト低減」にも貢献します。

現在、「IoTセキュリティ研究」の「第一人者」である
「立命館大学の上原 哲太郎 教授」にご協力を頂き
「兵庫県・芦屋市役所」にて
「実証実験」を行っております。

また、「全国の自治体様」からの引き合いも
多数いただいております。

工場のDX : 「IoTセキュアサーバー」

サイバー
セキュリティ
強化!!

「工場データ」+「リモート(クラウド)」=「DX」

☆ 通信・共通化 ☆

・多種多様な「工場・制御機器データ」の共通化



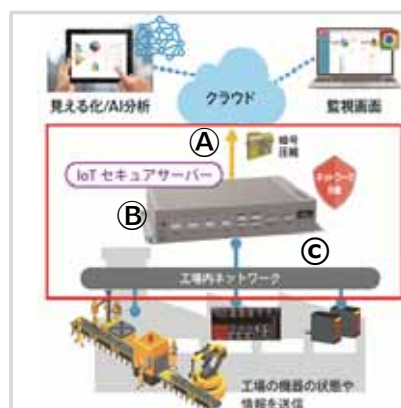
☆ 通信・暗号化 ☆

・膨大な「デジタル・データ」の、安全な暗号化

☆ 高セキュリティ ☆

・「工場内の閉域ネットワーク」の外部接続によるサイバー攻撃対策

☆ リアルタイム利活用 ☆

・「生産性向上」「稼働率アップ」
「制御機器の予知保全」

【IoTセキュアサーバー 活用イメージ】

- ① **HULFT IoT TAKEBISHI** ・安全なデータ転送とクラウドサービスを両立
・生産性向上や稼働率アップ、制御機器の予知保全
- ② **LYNX | Secure®** ・外部ネットワーク接続時のサイバー攻撃を遮断
・保護されたデータを安全にクラウドへ転送。
- ③ **Dxp SERVER** ・制御機器のマルチベンダー対応、
制御機器との接続性を向上
・200シリーズ以上の制御機器データ収集が可能

16

次に、工場のDXを加速させる
「IoTセキュアサーバー」を
「たけびし社」と共同開発しました。

工場の「生産情報」や「機器情報」などの
「膨大なデジタル・データ」を
クラウドで活用することで、

生産性や稼働率など「幅広い分野での改善」に
リアルタイムに利活用すると同時に、
「多種多様」な「制御機器」との接続性や、
サイバー攻撃を遮断し、完全防御する
「高セキュリティ」を実現するなど、

「デジタル・トランスフォーメーション」を
飛躍的に進展させるソリューションです。

仏・シュナイダー社：「GIS×ARソリューション」

「GIS (地理情報)」 × 「AR (拡張現実)」 = 「DX」

【熟練技術】【ノウハウ】【経験】

GIS×ARソリューション

「技術継承」「安全性」
「ソーシャル・ディスタンス」



DX 推進!!



シュナイダーエレクトリック社
本拠地：フランス
事業展開：世界100カ国以上
URL：
<https://www.schneider-electric.com/jp>
事業概要：
ビル、データセンター、基盤インフラ、産業向けに、エネルギーマネジメントと、オートメーションの「デジタルトランスフォーメーション」を推進

17

次に、「世界100カ国以上」で
「デジタルトランスフォーメーション」事業を
展開される
「シュナイダー社」と、

「AR: 拡張現実」と、
当社の「GIS: 地理情報」を
融合させたソリューションを「共同開発」しました。

「熟練技術者」の「技術承継」などの
課題に対し、
「GIS・ARソリューション」が貢献します。

「ニューノーマル時代」への対応に加え、
「デジタル・イノベーション」を推進する
新しいソリューションです。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

自動運転
ロボット制御
IoTなど

AIシステムの「安心」・「安全」



AIの品質ガイドライン



参加企業・団体 (50音順)

アドソル日進(株)
(株)サイバー創研
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
学共同利用機関法人 情報・システム研究機構国立情報学研究所
テクマトリックス(株)
(株)デンソー
学校法人 東京理科大学
トヨタ自動車(株)
日本アイ・ピー・エム(株)
日本電気(株)
パナソニック(株)
(株)日立製作所
富士通(株)
(株)富士通研究所

産総研について

- ・名称 : 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- ・創立 : 2001年4月
- ・所在地 : 本部:東京都千代田区/つくば市 研究拠点:全国10か所
- ・理事長 : 石村 和彦
- ・職員数 : 3,041名 (研究職員2,338名)
- ・事業概要 : 産業技術に関わる研究
- ・URL : <https://www.aist.go.jp/>

続いて、当社が取り組む
最先端の研究活動について、ご紹介します。

当社は、「人工知能のAI」や、「仮想現実のVR」、
「IoT」、「セキュリティ」、「GIS:地理情報」など
様々なテーマで「研究開発活動」に
取り組んでおります。

「AI」に関しては、
「AIシステム」の開発・提供に加え、
「国立研究開発法人」の
「産業技術総合研究所」が取り組まれている
「AIの品質ガイドライン」策定プロジェクトに
参画しております。

「開発」と、「品質」の両面から
「AI」の「研究活動」を推進することで、
より一層、「安心・安全」な「AIシステム」を
提供してまいります。

「暮らし」と「社会」を守る ICTシステム



「安心・安全」・「持続可能な社会の実現」



次に、当社は、
「安心・安全」な
「持続可能な社会の実現」に貢献するため、

「宇宙・航空」、「医療・ヘルスケア」、
「自然災害」、「サイバー・セキュリティ」など
さまざまな脅威から
「暮らし」と「社会」を守るICTシステムへの
「対応強化」を目的に、

「安全保障システム分野」を新たに定め、
今後、その活動に注力してまいります。

「技術研究」や「人材育成」に加え、
当社の「豊富な開発実績」や
「技術」と、「先進的なDX・IoTテクノロジー」を
融合させた
新たなソリューションの提供を推進する方針です。

東京医療保健大学：感染制御学研究センター



【医療機器】



- ・医療機器
- ・検査機器
- ・メディカルIoTなど

【産学連携】



- ・共同研究・開発
- ・医療ICT人材など

【医療ICT】



- ・カルテシステム
- ・緊急システムなど



左：東京医療保健大学 理事長 田村 哲夫 様
右：当社 代表取締役社長 上田 富三
2020年8月 東京医療保健大学にて

感染制御学

- ・医療従事者や患者を、新たな感染の脅威から守る「感染制御」に関する先進的な教育・研究
- ・未知の感染症への対応に加え、空気感染・飛沫感染・接触感染などの感染経路別の予防策や、ワクチン効果・薬剤耐性など、幅広い領域から「感染制御」の実現に向けた取組みを推進

東京医療保健大学

- ・開学 : 2005年
- ・学部・専攻科 : 医療保健学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部、助産学専攻科
- ・理事長 : 田村 哲夫 氏



次に、社会貢献活動として、この9月に
昨今、喫緊の課題となっている
「感染症拡大の防止」への貢献を目的に、

「感染制御学」の研究活動で
最先端の取組みを推進される

「東京医療保健大学」の
「感染制御学研究センター」に
寄付を行いました。

今後も当社は、「医療分野」における
「産学連携」や「研究活動」、
そして、「先進的なメディカルICTソリューション」の
「創造・提供」を通じて、
「持続可能な社会の実現」に
貢献してまいります。

2021年3月期 第2四半期 決算概要

アドソル日進の取組み

2021年3月期 重点施策と業績見通し

21

次に、
「2021年3月期」の
「重点施策」と「業績見通し」について
ご説明いたします。

「新・中期経営計画」策定中

(発表予定：2021年 春)

22

まず、当社は現在、
「Withコロナ」を前提とした、

ニューノーマル下での
更なる成長と、

「持続可能な社会の発展」への
貢献を目指す

「新・中期経営計画」の
策定準備を開始しました。

来年春の発表を予定しております。

デジタル・イノベーションで 未来を拓く



23

次に、当社を取り巻く「事業環境」ですが、

中・長期的な「ICT投資需要」として、「電力・ガス」のエネルギー、「宇宙、5G」、「次世代自動車」や、「メディカル」など、当社の「事業領域」では底堅い「ICTニーズ」があります。

加えて、「DX」、「AI」、「IoT」などの新しいテクノロジーや、

「データ保護」に向けた「サイバー・セキュリティ対策」も急がれております。

さらに、「Withコロナ」の「ニューノーマル時代」に向け、「ソーシャル・ディスタンス」、「テレワーク」などの「ICT投資需要」も増加しています。

このようなICTニーズに、「デジタル・イノベーションで未来を拓く」先進的な「DX、IoTソリューション」でお応えしてまいります。

合わせて、ご覧の取組みを推進し、「持続可能な社会」の実現に貢献してまいります。

◆ 11期連続 営業増益!!

(単位：百万円)	2020/3		2021/3(予)		前期比	
	実績	構成比%	見通し	構成比%	増減額	増減率%
売上高	13,315	-	13,500	-	184	1.4
社会インフラ事業	8,070	60.6	8,598	63.7	529	6.6
先進インダストリー事業	5,246	39.4	4,902	36.3	△119	△6.6
売上総利益	3,284	24.7	3,375	25.0	90	2.7
営業利益	1,213	9.1	1,220	9.0	6	0.5
経常利益	1,236	9.3	1,244	9.2	7	0.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	824	6.2	826	6.1	2	0.2

※2021/3期より、「旅行関連」を、先進インダストリー事業に変更しました。

24

「2021年3月期」、通期の業績見通しです。

先ほどご説明しました
底堅いICT需要を背景に、

売上高:「135億円」
営業利益:「12億2千万円」を見込んでおり、

現段階では、期初の業績予想を
据え置いております。

◆ 配当方針

- 配当性向 **35%**以上
- **連続増配**
- 配当計画年 **2**回（中間、期末）

◆ 配当予想

(単位：円)	2020/3	2021/3
中間	14	16
期末	18	17
年間	32	33

◆ 配当推移

■ 配当額（左軸）
■ EPS（右軸）

11期連続増配!!



続きまして、配当です。

配当性向は「35%以上」、
株主配当は「中間・期末の年2回」と
しております。

今期は、
「上期16円」、「下期17円」の
「年間33円」で、
「11期連続増配」を見込んでおります。

なお、
今期の配当性向は、
「36.8%」の見込みです。

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

尚、本資料に記載されている会社名及び商品名は、各社の商標又は登録商標です。

■お問合せ先



URL <https://www.adniss.jp/>

【本 社】 〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバーージュ品川

TEL : 03-5796-3131 (代表)

経営企画室 広報・IR担当 TEL : 03-5796-3261 メール : ir@adniss.jp

以上で、
「2021年3月期 第2四半期」決算の
ご説明を終わらせていただきます。

ありがとうございました。



ご参考 アドソル日進の取組み



27

アドソル日進の取組みをご紹介します。

社会インフラ事業

「エネルギー(電力・ガス)」「道路・鉄道」「航空・宇宙」「公共・防災」「通信ネットワーク」などの社会インフラにおけるシステム・インテグレーション・サービスを展開しています。

エネルギー分野

電力会社、ガス会社向けの基幹システムや自由化システムなど

交通・運輸分野

宇宙、航空、鉄道、道路に関連するICTシステム

公共分野

防災、ダム、河川など官公庁や、地方自治体向けのICTシステム

通信・ネットワーク分野

次世代通信(5G)など、通信関連のICTシステム

先進インダストリー事業

「次世代EV自動車」「産業機器」「設備機器」「医療機器」など、「日本のモノづくり」のIoTの促進と、次世代型の決済システムに関連する、先進的なICTシステムを提供します。

制御システム分野

次世代自動車、車載OS、オフィス機器、医療機器、設備機器など、お客様が販売する製品に組み込まれるICTシステム

基盤システム分野

決済や、クレジットカード・システム、旅行などの、基盤系ICTシステム

ソリューション分野

セキュリティや、近距離無線通信、GIS(地理情報システム)等、当社独自のソリューションの提供



社会インフラ事業と
先進インダストリー事業の
概要でございます。

「最先端R&D：米国」 「グローバル開発：中国2拠点・ベトナム3拠点」

中国・大連
日進合資五周年

中国・北京

北京 大連 九州支社 東京本社 関西支社 仙台開発センタ

先進セキュリティ技術

サンノゼR&Dセンタ

サンノゼR&Dセンタ(100%子会社)

ベトナム・ハノイ

ベトナム・ダナン

ハノイ ダナン ホーチミン

Powered by CraftMAP

29

グローバル展開のご紹介です。

米国では、
子会社の「サンノゼR&Dセンター」にて、
「IoT・セキュリティ」の
「研究開発」や「実証実験」と「ビジネス展開」を
推進しております。

アジア、アセアン圏では、国内のお客様の
「ハイレベルなご要望」と
「増加するICT需要」にお応えするための
開発体制を
「中国2拠点」、「ベトナム3拠点」で対応しております。

「アドソル・アジア社」事業開始 (4/1)

海外 5 拠点

- ◆社名 : アドソル・アジア株式会社
- ◆本社 : 東京都港区港南4-1-8
海外拠点 : 中国2拠点、ベトナム3拠点
海外パートナー: 10社



- ◆事業概要 : アジア・アセアン圏での、ICTシステムの開発、及びサービスの提供

オフショア・サプライチェーン 強化!!

- ◆アジア地域 : システム開発推進・体制強化
- ◆ICT開発需要 拡大対応



社会インフラ企業様・製造メーカー様・IoT機器メーカー様

アジア地域での、海外オフショア開発を推進する100%子会社「アドソル・アジア株式会社」のご紹介です。

この4月に事業を開始した「アドソル・アジア株式会社」が中心となり、海外5拠点（中国：2拠点、ベトナム：3拠点）の「オフショア・サプライチェーン」を強化し、日本国内・大手の社会インフラ企業様や製造メーカー様の旺盛なICT需要にお応えしてまいります。

尚、2021年3月期より、アドソル・アジア株式会社を連結対象としております。



IoT・サイバーセキュリティ・ソリューションのご紹介です。

- ・「IoTデバイス」、
- ・「制御システム」、
- ・「ネットワーク」、
- ・「コンサルティング」、
- ・「人材育成」や、
- ・特許を保有しております、電界通信を活用した入退室の「フィジカル・セキュリティ」等、

幅広いサイバー・セキュリティを
お客様にワンストップでご提供しております。

「コンサルティング」「セキュリティ」「グローバル」「IoT」

アライアンス



産学連携

名古屋工業大学
早稲田大学
慶応義塾大学
立命館大学
静岡大学
千葉大学
東京医療保健大学

グローバル



研究団体



32

アライアンスのご紹介です。

「コンサルティング」、「セキュリティ」、
「グローバル」、「IoT」などをキーワードに、

高度な専門性を有する国内外の企業との
アライアンス戦略を積極的に推進しております。

また、各大学との共同研究・産学連携や、
先進領域での業界団体活動、
「米国サンノゼ R&Dセンター」を通じた
最先端の技術習得を推進しております。

産学連携で、「市場創成」「最新技術」

早稲田大学

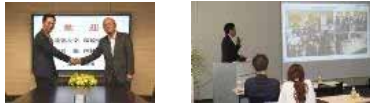
- ・「EMS 新宿実証センター」
 - ◆早稲田大学先進グリッド技術研究所と経済産業省 日本初
 - ◆電気・ガス、通信、住宅、自動車、家電など「26法人」
 - ◆複数メーカーの機器連携



早稲田大学EMS新宿実証センター

慶應義塾大学

- ・「GISと、IoTの融合 / GIS×IoTプラットフォーム」
 - ・「i-Construction」（国土交通省が推進する建設現場の生産改革の取組み）対応
 - ・地理情報システム学会等で成果発表
 - ・ベルモント国際共同研究への参加



立命館大学

- ・「IoTセキュリティ / 組み込みマルチコア」
 - ◆産学連携協定：IoTセキュリティ分野を主とする 科学技術の産学
 - ・セキュリティに関する最新テクノロジーの研究
 - ・IoTセキュリティ・ガイドラインの検討・検証
 - ・IoTセキュリティ研究センター、コンソーシアムの設立
 - ・IoTセキュリティ人材の育成
- ◆次世代IoT機器向け 共同研究
 - ・組み込み「マルチコア制御シ...



毛利研究室との共同研究 協定締結式

千葉大学

- ・「教育用AI+ VR : Virtual Reality (仮想現実)」
 - ・「看護教育領域」での、VRの活用
 - ・「教育コンテンツ」の拡充



研究・開発中のVRシステムの一例



産学連携のご紹介です。

当社は、

- ・早稲田大学との、「EMS関連」
- ・慶応義塾大学との、「GIS:地理情報システム関連」
- ・立命館大学との、「IoTセキュリティ」「マルチコアOS」
- ・千葉大学との、「VR:仮想現実」

などを、各大学と取り組んでおります。

また、他の大学や研究機関とも
様々なテーマで共同研究を予定しております。

高品質な ICTシステム

① プロジェクト・マネジメント

- ① “PMP資格”
- ② EVM・進捗管理
- ③ 高水準の品質分析

② プロジェクト監視

- ① 組織的なプロジェクト監視
- ② プロジェクト状況 “見える化”

④ 人財育成
(PM、PMO)

- ① プロジェクトマネジメント研修
- ② PMO人材

③ オリジナル・ICTツール

- ① AdsolDP
- ② 静的解析ツール
- ③ プロジェクト監視ボード



「品質」への取組みのご紹介です。

「プロジェクト・マネジメント」、
「プロジェクト監視」、
「独自開発のオリジナル・ツール」、
「人材育成」の視点から、

高品質なICTシステムをご提供するため、
当社独自の取組みを推進し、
品質力の向上に、継続して
取り組んでまいります。

アドソル日進

拠点：東京・大阪・福岡・仙台
設立：1976年3月



子会社

Ad-Sol Nissin San Jose R&D Center

拠点：米国サンノゼ・シリコンバレー
設立：2016年2月

アドソル・アジア

拠点：東京、ベトナム（ハノイ・ダナン・ホーチミン）、中国（北京・大連）
設立：2020年1月



関係会社

HTS ヒューマンテクノシステムホールディングス

拠点：福岡、東京、大阪、名古屋、横浜、熊本、鹿児島、カナダ・バンクーバー
設立：1997年6月

WEAVESOFT

拠点：中国（大連）
設立：2004年1月



アドソル日進のグループの一覧です。

対象株主 & 時期

- 毎年9月30日、3月31日の株主様（年2回）
 - 200株以上4,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定
 - 4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

優待内容

■ 200株以上4,000株未満

「緑の募金」付きQ U Oカードを贈呈

- 200株以上 1,000株未満 500円相当
- 1,000株以上 2,000株未満 1,000円相当
- 2,000株以上 4,000株未満 1,500円相当

● 保有期間特典

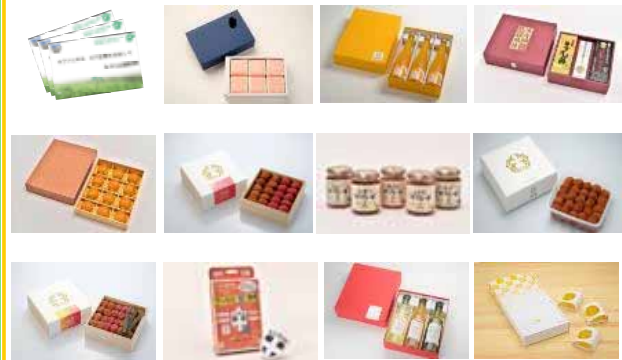
1年以上で Q U Oカード1枚（500円相当）を
年間 2枚 追加贈呈



■ 4,000株以上

● 「緑の募金」付きQ U Oカード（3,000円相当） 又は

● 「紀州梅」「みかんジュース」「みかんゼリー」「醤油」「お米」等から選べる株主優待カタログ（3,000円相当の商品から一品）を贈呈



注. 写真はイメージで実際の商品と異なる場合があります。

株主優待のご紹介です。

配当に加え、保有株数に応じた優待制度を設けており、「梅ギフト」や「クオカード」を

年2回、贈呈させていただいております。

2021年4月 新卒・内定式 (オンライン)

- ◆ 人数 : **50名**
- ◆ 内訳 : 大学院・・・13名
学部・・・37名
グローバル人財・・・1名
(ベトナム人留学生)
- ◆ 職種 : 技術エンジニア



※2020年10月1日、内定式(オンライン)を執り行いました。

2020年4月 新卒・新入社員

- ◆ 人数 : **47名** (前期比 **+10名**)
- ◆ 内訳 : 大学院・・・14名
学部・・・33名
グローバル人財・・・2名
(ベトナム人留学生)
- ◆ 職種 : 技術エンジニア



※2020年4月1日、入社式



※新入社員研修(オンライン/グループ集合研修)

人財への取組みのご紹介です。

採用活動としては、
本年、2020年4月に新入社員47名が入社しました。
国公立の理系出身者を中心に、
将来有望な人材を採用しております。

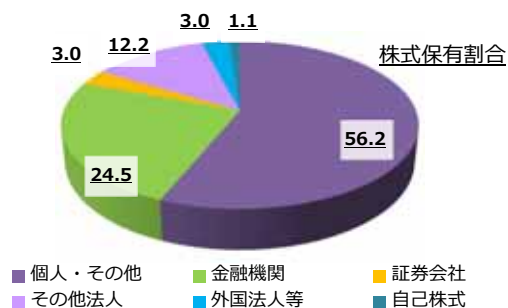
次に、来年、2021年4月に向けては、
50名の入社を予定しております。

10月1日には、オンラインでの内定式を開催しました。

また、経験者採用にも積極的に取り組んでおります。

会社概要

社名	アドソル日進株式会社 Ad-Sol Nissin Corporation
本社	〒108-0075 東京都港区港南4丁目1番8号 リバーージュ品川 TEL:03-5796-3131 (代表) FAX:03-5796-3265 (代表)
拠点	大阪、福岡、仙台、米国サンノゼ
設立	1976年3月13日
代表者	代表取締役社長 上田 富三
資本金	5.5億円
決算	3月
事業内容	独立系のICT企業として、 社会システム事業を中核 に企業や公共向け情報システムの開発、及び ソリューションの提供並びに商品化と販売
従業員数	1,164人 (グループ総数)
売上高	133.1億円 (2020年3月期)
上場市場	東証1部 3837
発行済株式数	9,352,919株 (2020年9月30日現在)
子会社	国内 アドソル・アジア (株) 米国 Adsol-Nissin San Jose R&D Center, Inc. (サンノゼR&Dセンター)
業務提携先	米国 Lynx Software Technologies, Inc. 中国 大連運籌科技有限公司(Weavesoft Ltd.) ベトナム 3S Intersoft JSC United Technologies Corporation Individual Systems



38

アドソル日進の会社概要です。